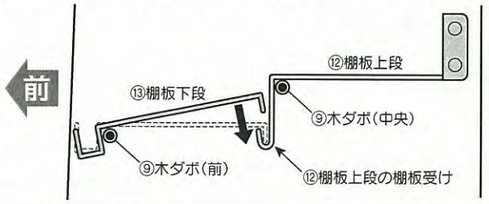
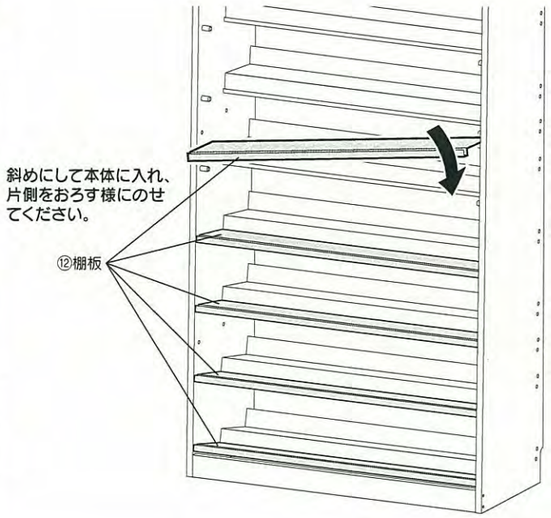
7 下の段から⑬棚板下段をのせてください。

（図は、〈例 1〉全 CD の場合）

組立上の注意

- ⑬棚板下段は四角の溝のある方が前方です。
- ⑬棚板下段は右図のように斜めにして本体に入れ、片側をおろす様にのせてください。
- ⑬棚板下段を取付ける際は、前方を⑨木ダボ（前）に引っ掛けてから後方を⑫棚板上段の棚板受けに入れてください。

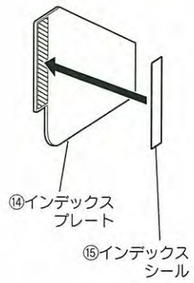




⚠注意

棚板の両端で手等を切らない様十分注意してください。特にお子様が触れない様にしてください。また、本体にのせる際、側板内側をキズつけない様に、棚板は水平に入れようとせずに左右どちらかを高く傾けながら入れる様にしてください。

8 ⑭インデックスプレートに⑮インデックスシールを貼ってください。



9 完成図

〈TCS 890〉　〈TCS 590〉

取扱い上の注意

- 著しい汚れは、うすめた中性洗剤で落とし、直ちに乾拭きを行ってください。
- 組立てたネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。
  また移動させた際も同様に締め直してください。

品質表示

外形寸法／幅 890 ㎜ × 奥行 370 ㎜ × 高さ 1805 ㎜（TCS890）
　　幅 590 ㎜ × 奥行 370 ㎜ × 高さ 1805 ㎜（TCS590）
使用材料／本体木部：プリント紙化粧合板
　　棚板：塗装溶融亜鉛めっき鋼板
　　インデックスプレート：ポリエチレン
耐 荷 重／18.6 kg ×9 段（TCS890）
　　12.0 kg ×9 段（TCS590）

製造発売元　オークス株式会社
〒955-0842　新潟県三条市島田2丁目8番3号

毎度お買上げありがとうございます。
製品についてのお問合わせは、
オークス（株）までご連絡ください。

フリーダイヤル　**0120-35-1217**
お問合わせ時間／土曜、日曜、祭日を除くAM9:00～PM5:00
http://www.aux-ltd.co.jp

1279 / 1　（日本製）

タンデムCDストッカー　TCS890/TCS590

取 扱 説 明 書

このたびは、タンデムCDストッカーシリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

安全上の注意

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

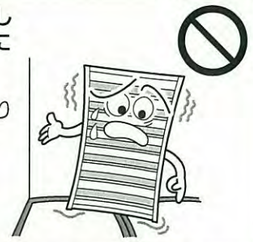
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容が表示されています。

⚠注意

●金属製品部分の角や端面で手等を切らないよう、十分注意をして組立ててください。

●水平で強度のある床に設置してください。じゅうたん、畳には適していません。

製品が倒れケガをする恐れがあります。



●本体を移動する場合は、収納物を全て取り除いてから行ってください。

収納物が落下してケガをする恐れがあります。

●高温・多湿の部屋では空気が滞留すると、カビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。部屋の換気は充分に行ってください。

●天板には物をのせないでください。

落下してケガをする恐れがあります。

●CDの収納はできるだけ下段の方から行ってください。

上段に重さが集中すると不安定になり、転倒の恐れがあります。

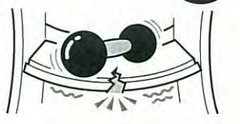
●当製品の耐荷重は下表の通りです。

製品名	1段に収納可能な枚数	1段あたりの耐荷重	合計耐荷重
TCS890	169枚	18.6kg	168kg
TCS590	109枚	12kg	108kg

※CD1枚約110gとします

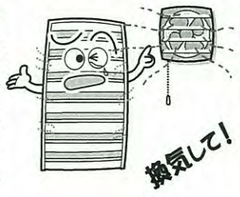
●耐荷重を超える重量をのせないでください。

製品やCDの破損またはそれによるケガの恐れがあります。



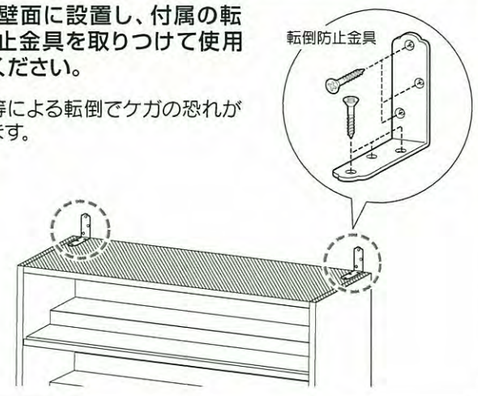
●低ホルムアルデヒド素材を使用しています。

アレルギーやシックハウス症候群の誘因の一つとされるホルムアルデヒドの放散量を低減したF☆☆☆☆の接着剤、F☆☆☆またはF☆☆☆☆の繊維板等を使用しています。ホルムアルデヒド臭は軽減していますが、無臭ではありませんので、気になる場合は換気を行ってください。



●必ず壁面に設置し、付属の転倒防止金具を取りつけて使用してください。

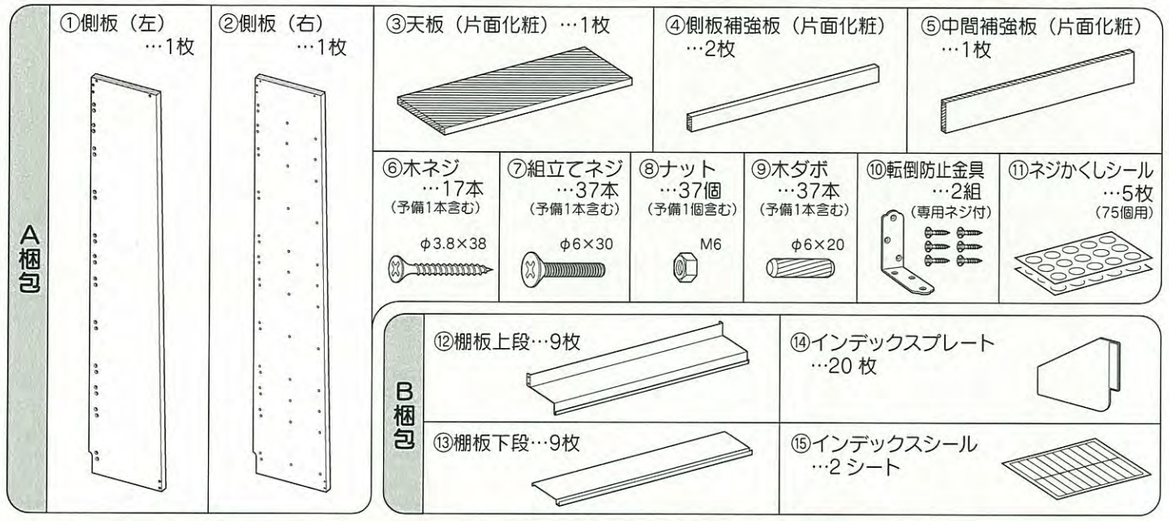
地震等による転倒でケガの恐れがあります。



※部品イラストや組立てイラストはTCS890のものを基に描かれています。 TCS590では、③天板、④側板補強板、⑤中間補強板、⑫棚板上段、⑬棚板下段の長さが異なりますが、部品確認や組立てはこの組立説明書に基づいて行ってください。

部品明細

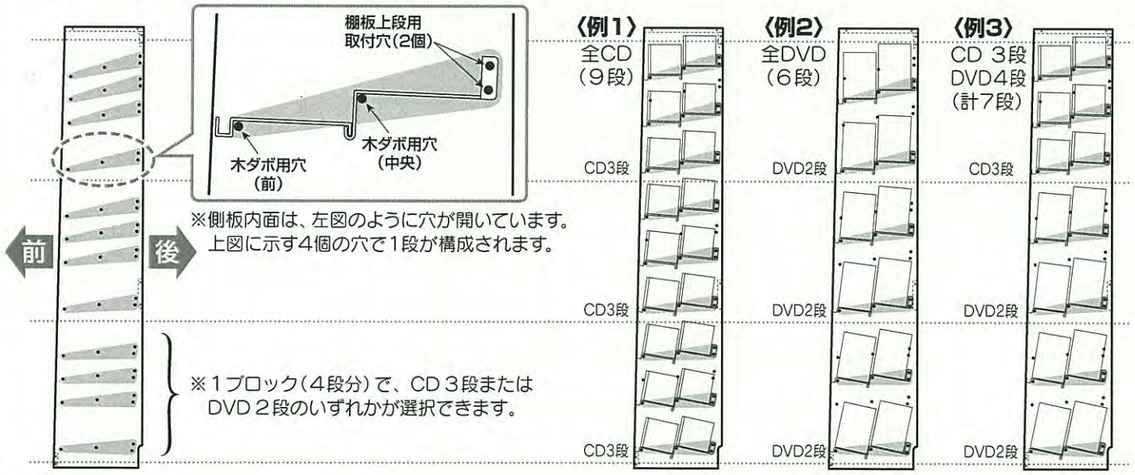
下図に描かれた部品が揃っているか、組立前にご確認ください。



組立手順

組立てには⊕ドライバーとハンマー（小型のもので可）が必要です。
組立手順を最後までお読みの上、組立てはじめてください。

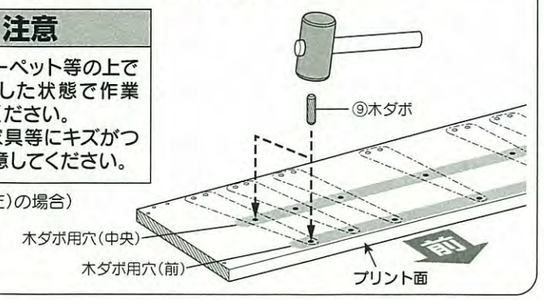
1 ＤＶＤソフトやビデオテープを収納する場合は、⑪棚板上段・⑫棚板下段の取付け位置が変わりますので、どのようなパターンにするか決めてから組立てを始めてください。



2 両側板の内側、前方と中央の穴に **1** で決めたパターンに合わせて⑨木ダボを打ち込んでください。

⚠注意

組立てはカーペット等の上で図の様に倒した状態で作業をすすめてください。
また、他の家具等にキズがつかない様注意してください。

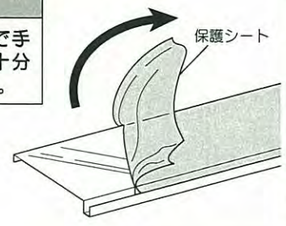


（図は①側板（左）の場合）

3 ⑫棚板上段・⑬棚板下段には透明の保護シートが貼ってありますので、はがしてください。

⚠注意

棚板の角や端面で手等を切らない様十分注意してください。

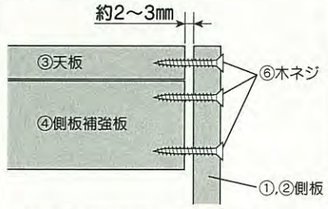


4 ①側板(左)と②側板(右)と③天板、④側板補強板、⑤中間補強板を図の様な向きにして、本体キャビネットを組立ててください。

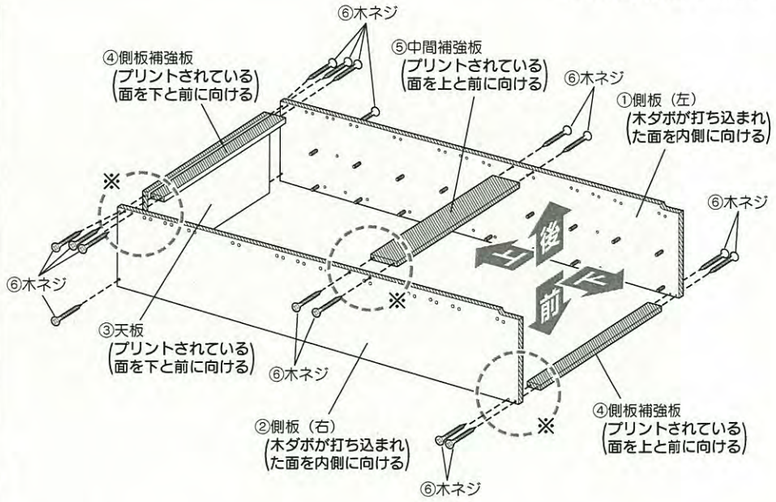
（図は、〈例 1〉全 CD の場合）

組立上の注意

- ③天板・④側板補強板・⑤中間補強板の両端に小さい下穴がありますので、よく確認をして⑥木ネジをさしてください。
位置が合っていない状態で無理に締めると天板・側板補強板が破断してしまうことがあります。
（右図※部分）



各接合部ははじめは完全にネジを締めず約２～３㎜ほどすきまのある状態にしておいてください。



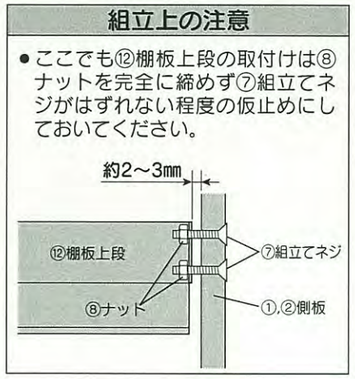
図中の▨で示した部分はプリント等の表面加工が施されていない部分です。

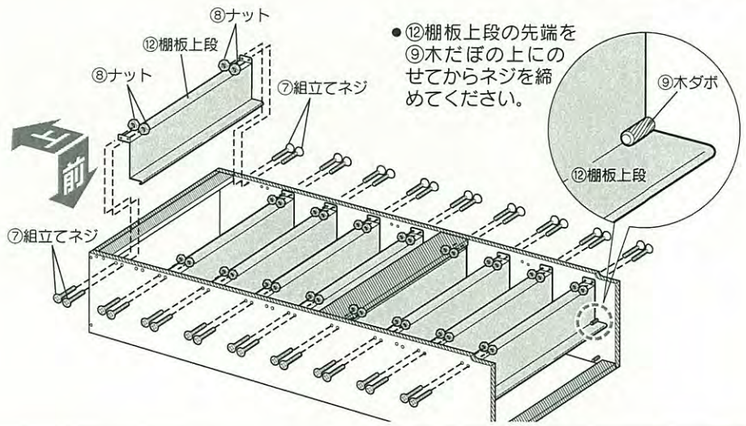
5 本体キャビネットの穴に **1** で決めたパターンに合わせて⑫棚板上段を取付けてください。

（図は、〈例 1〉全 CD の場合）

組立上の注意

- ここでも⑫棚板上段の取付けは⑧ナットを完全に締めず⑦組立てネジがはずれない程度の仮止めにしておいてください。

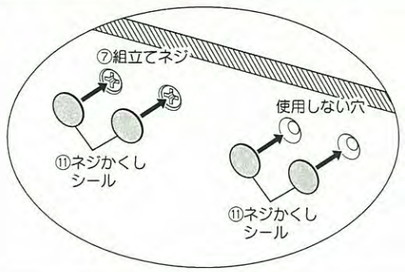
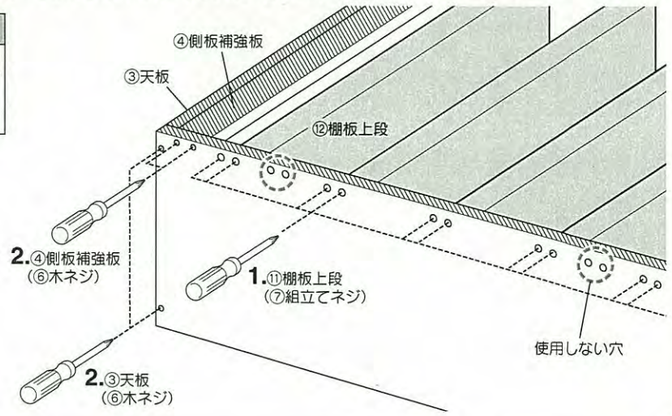




- ⑫棚板上段の先端を⑨木だぼの上にのせてからネジを締めてください。

6 全ネジを締め、⑪ネジかくしシールをねじ頭と使用しない穴に貼ってください。

（図は、〈例 1〉全 CD の場合）

組立上の注意

1.はじめに⑫棚板上段の⑦組立てネジを締めてから、
2.最後に③天板、④側板補強板、⑤中間補強板の⑥木ネジを締めてください。